

はまだ議会だより mini

こんにちは。議長の川神です。

今回は議長としての仕事の一部を紹介します。本会議の運営以外にも、浜田市議会の代表としてさまざまなところに出向くこともあります。他市との連携も重要な役割です。

他市との連携で課題解決

市議会議長会という組織は、さまざまな範囲で各市議会の正副議長が集まり、課題や今後の展望について議論をし、一緒になって要望活動も行います。その会長市は持ち回りで担当しますが、令和3年度においては、浜田市議会議長が会長となる組織が3つあります。

- ①島根県市議会議長会
(構成員は島根県内8市)
- ②中国市議会議長会
(構成員は中国地方5県の54市)
- ③全国市議会議長会特定第三種漁港協議会
(構成員は特定第三種漁港のある全国13市)

それぞれの議長会でリーダーシップを発揮し、円滑なネットワーク運営のサポートを通じて、各種課題解決のために尽力してまいります。また、さまざまな情報収集を行い、国県に対して構成員である市議会全体の思いを届ける体制づくりに努めます。

議員のつぶやき

冬の味覚 干し柿

子どもたちの「おやつ」であったことが、過去のことになりつつあります。秋に柿を取り、皮をむき、縄に刺して風通しの良い軒下に干し、仕上がるまでに早々と食べてしまう子。固くなるまで干して寒い冬にコタツで食べる子。きっと、自家製のおやつはおいしかったでしょう。(川上幾雄)



国や県への要望活動

令和3年2月10日に島根県市議会議長会の春季定期総会が開催されました。県内8市の正副議長が浜田市に集い、事前に各市議会から提出のあった議案を審議しました。

山陰道の早期全線開通に向けた取組や、山陰への高速鉄道の実現、地域医療確保対策の推進について協議し、今後中国市議会議長会へ提出します。そのほかの議案についても関係機関へ要望していくことになりました。



定期総会において会長として挨拶

議長 日誌

意見交換会に参加しました

2月は、業界団体との意見交換会2件に出席しお話を伺いました。「連合自治協議会と語る会」では、コロナ対策と広報広聴強化の講演を行いました。また「保育連盟執行部との情報交換会」では、配慮を必要とする子どもへの対応など、多くの課題があると分かりました。



浜田市議会はSDGsを推進しています。